



三二  
情報

2023.10

## 房総半島にあらわれた「タコクラゲ」

タコクラゲは、夏から秋にかけて関東以南の波の静かな海で見られます。直径15cmほどのカサの下には8本の口腕と棒状の付属器があり、その姿が「タコ」に似ていることが名前の由来です。房総半島では秋ごろに出現する情報がありましたが、これまで目にすることはありませんでした。今年は情報をもとに近隣の漁港へ出向いたところ、この地域で初めて30個体ほどを採集することができました。水玉模様でぷかぷかと泳ぐ姿をご覧ください。

Kamogawa  
SEAWORLD